

議事要旨

イ ベ ント	第 2 回 えどがわ防災女性ミーティング
日 時	2025 年 3 月 8 日（土） 10:00～12:00
場 所	旧平井第二小学校
内 容	1 オープニング：危機管理部防災危機管理課 ・ 防災危機管理課長より挨拶 ・ 本日の進め方について説明 2 避難所見学・設備体験：危機管理部防災危機管理課・地域防災課 ・ マンホールトイレの上屋組立・給水栓組立・備蓄倉庫の見学 ・ 間仕切りテント・エアーマットの展示見学 3 避難所運営ゲーム（HUG）：危機管理部地域防災課 ●説明：避難所運営ゲーム（HUG）の進め方を説明。旧平井第二小学校の平面図を使用。 ●準備：グループごとに避難所の受付をはじめとしたレイアウトや動線等の作成 ●実践：与えられた事象に応じて、各グループで避難所運営の対応を協議 ゲーム終了後、各グループにて振り返りを行い、他のグループでどう対応したか聞きたい事象を挙げてもらった。 事象例・対応など ① 避難者の住居地域ごとに体育館のエリア分けを行っていたか A・B グループ：エリア分けを行っていた。同じ地域の方が一緒の方が助け合いやすいのでは。 C グループ：分けていなかった。 D グループ：分けたが機能しなかった。 ② 避難所に食事があると聞いて来たホームレスへの対応 A・B グループ：受付で身元確認ができないため、どのような対応をしているのか、また、臭いの面も考え、どこ の部屋に誘導するべきか迷った。 C グループ：即判断できなかった。受付に座って待ってもらっている状態。 D グループ：判断に迷った。他の避難者と同じ空間は NG と考え、とりあえず受付付近にいてもらった。 ③ 社屋と敷地の一部を避難者に開放した近所の会社が、避難者 30 人分の食事を求めてきた A・B グループ：いつ配れるかわからない説明をして受付で待ってもらった。 C グループ：ほかの避難者にも配れていない状況であるため、我慢してもらった。 D グループ：30 人分の食料を用意するのは保留とした。 ④ 情報を貼り出す掲示板をどこに設置したか A・B グループ：体育館の入口の脇 C グループ：入口は人が溜まるため、ステージの上に設置した。 D グループ：ステージの上に設置した。

⑤ 発熱・持病をもった避難者をどう対応したか

A・B グループ：体育館とは別の教室に分けた。感染症の避難者はさらに別の教室に分けた。

C グループ：体育館とは別の教室に分けた。部屋の位置は 1 階に集中させた。

D グループ：病人や怪我の人はあまり動けないと思ったため、部屋の位置は 1 階に集中させた。

⑥ バスの団体客をどう対応したか

A・B グループ：一部屋にまとめて案内した。気分の悪い人だけ、病人のいる教室に分けた。

C グループ：一部屋にまとめて案内した。気分の悪い人がいたので、全員感染症の疑いがあると考え、部屋は分けていない。

D グループ：体育館のひとスペースに全員を案内したが、他の班のように一室にまとめた方がよかったと思う。

⑦ ペットを連れた避難者をどう対応したか

A・B グループ：動物を連れてきた避難者は同じ部屋とした。

C グループ：動物を連れてきた避難者は同じ部屋とした。

D グループ：ペットを世話する飼い主と同じ部屋が良いと思ったため同じ部屋にした。

⑧ 持病の薬がなくて困っている避難者をどう対応したか

A・B グループ：薬が必要でもどうしようもないので体育館に配置した。

C グループ：薬が必要でも用意できないのでとりあえず待ってもらった。

D グループ：薬が必要と最初は把握していたが、押し寄せる避難者対応で待ってもらうことになった。

⑨ 配給された毛布 200 枚をどうしたか

A・B グループ：荷物置き場の部屋を決めて置くことにした。

C グループ：ステージの上に置いた。

D グループ：荷物置場である体育館ステージ上に置いた。

⑩ 認知症や援助が必要な人への対応

A・B グループ：医療職の人の部屋を決めた。掲示板で募集をかけた。

C グループ：お互いの気持ちがわかると思い、1 階に部屋を作った。

D グループ：体育館で同じ地区エリアの方と一緒にしたが、細かいケアは誰がやるのか疑問が残る。

⇒避難所運営ゲーム（HUG）終了後、参加者には令和 6 年度のえどがわ防災女性ミーティングの全項目が終了した旨とお礼を伝えて解散

以上